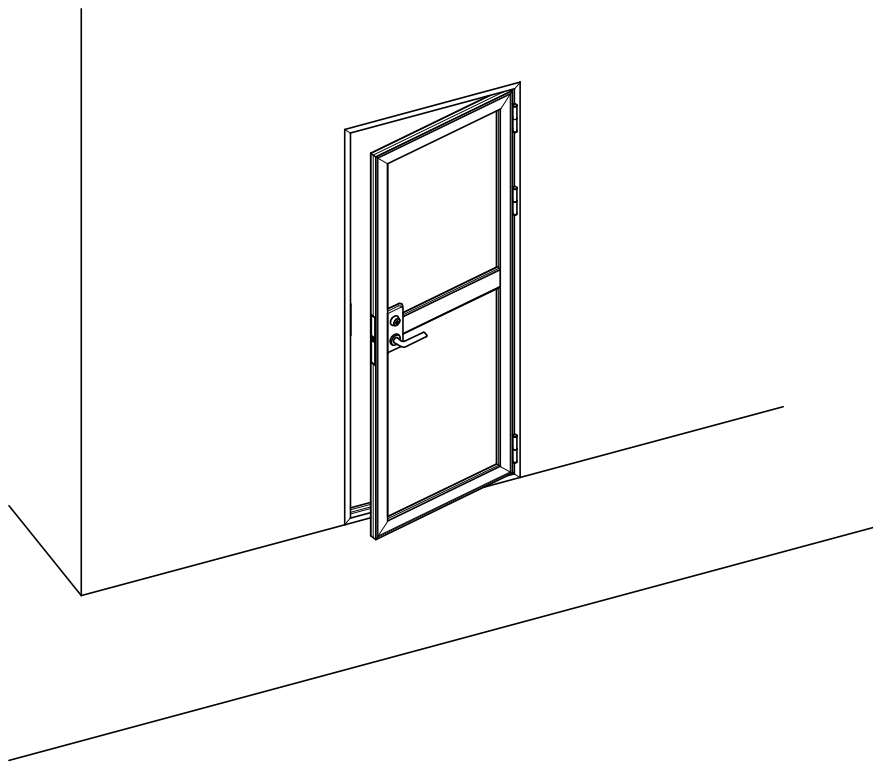


アルミ框ドア(電気錠式)取付け要領書

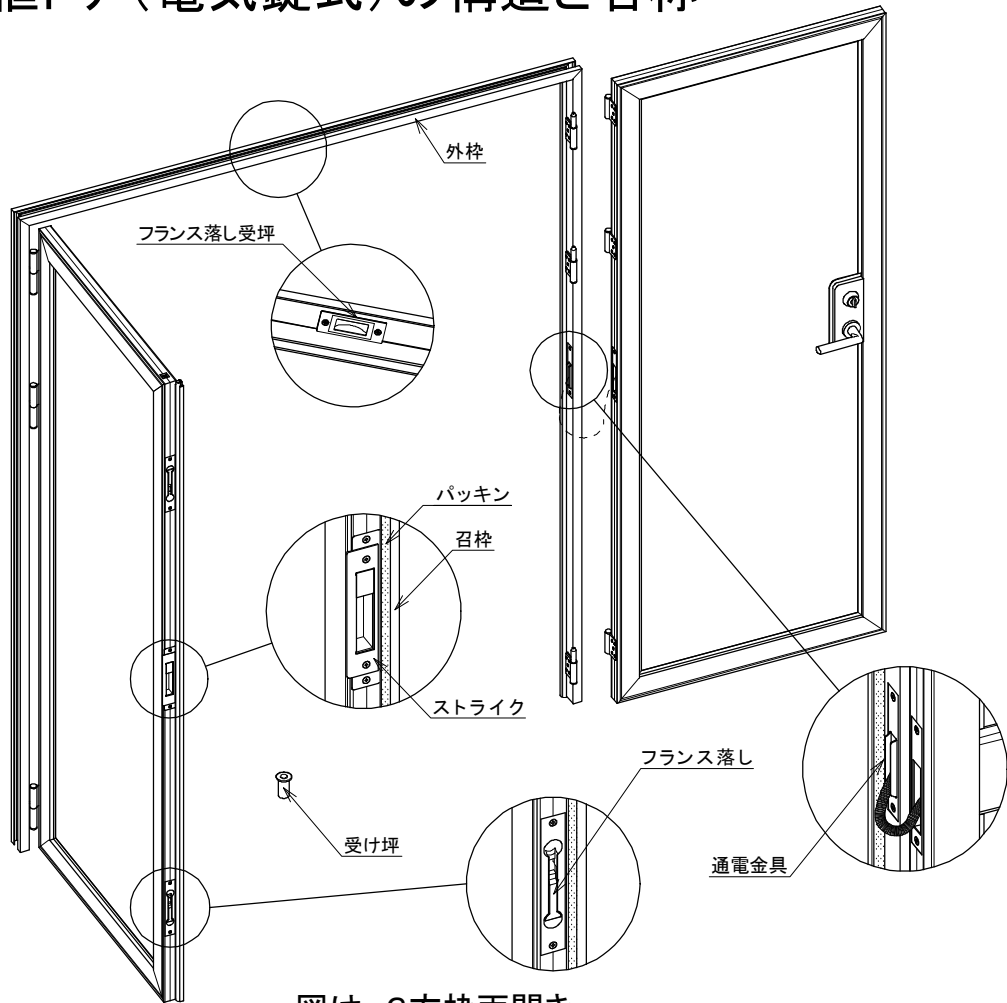


はじめに

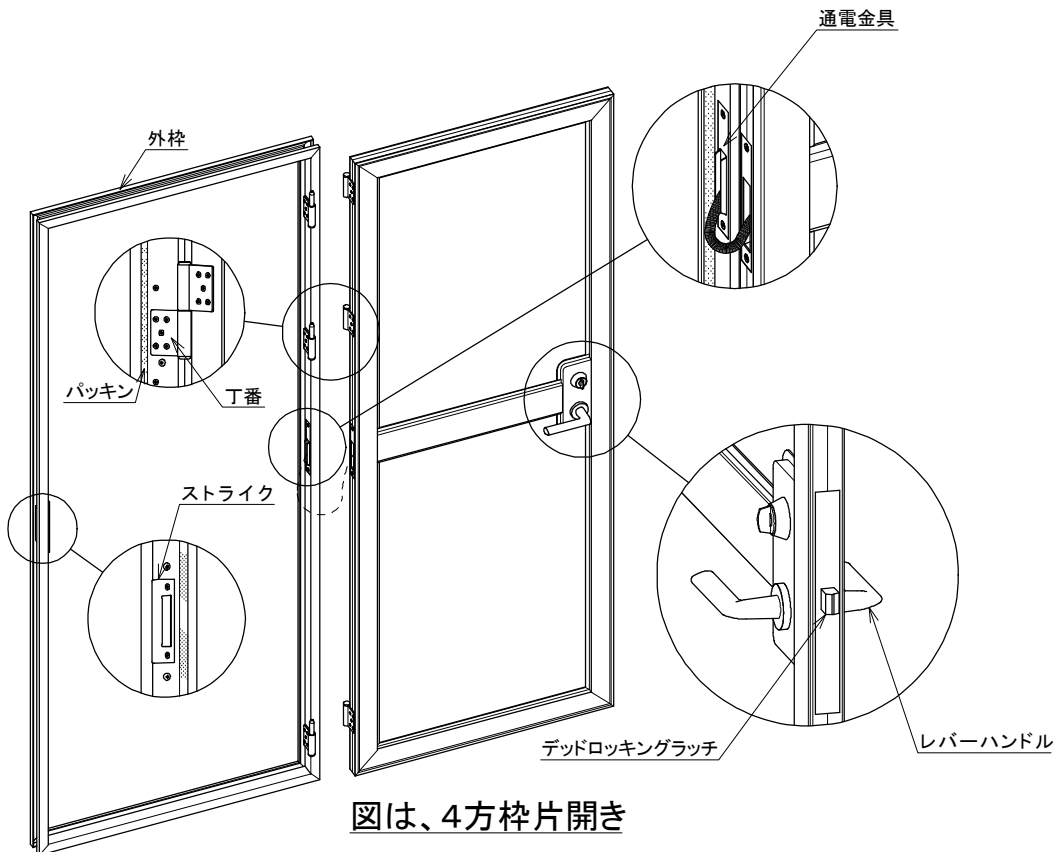
当NETショップアルミ框ドアをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
以下の注意事項をよくお読みになり、正しく設置を行なってください。

1. 施工前の扉・枠材は直射日光の当たらない場所で保管してください。
2. 保管の際には、長時間の横積を避けてください。扉変形の原因となります。
3. 組立ておよび取付けネジは、付属品を使用してください。
4. 取付けネジは確実に締め付けてください。ネジが緩いと扉の脱落の原因になります。
5. 取付けネジは確実に締め付けてください。ネジが緩いと扉の脱落の原因になります。
6. 扉の取付けのさいはケーブルを傷つけないように注意して下さい。正常に作動しなくなるおそれがあります。
7. 扉を物に立て掛けないでください。扉の変形・障害の原因になります。
8. 扉やハンドルにぶら下がったり、足場にしないでください。扉の機能に支障をきたす場合があります。
9. 錠前やドアクローザーなどの部品は分解・改造をしないでください。部品が飛び出して怪我をしたり、正しく機能しなくなります。
10. 本製品は電気製品です。水に濡れたりすると感電する恐れがありますので注意して下さい。
11. 金属ヘラやタワシなどで擦ると、表面のアルマイトが傷つき、腐食の原因になります。また、塩分・酸・アルカリなどが付着すると腐食の原因になりますので、すぐにふき取ってください。
12. 電気工事士でなければ出来ない作業は、電気工事士が行って下さい。

(1) アルミ框ドア(電気錠式)の構造と名称



図は、3方枠両開き

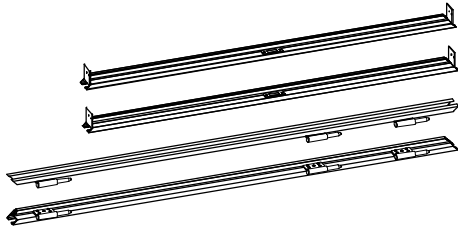


図は、4方枠片開き

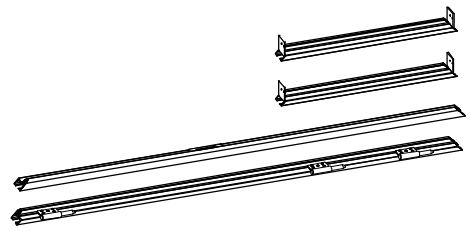
(2) セット内容


4方枠


両開き・親子扉



片開き扉




 皿タッピング4×50

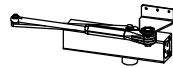
 プレスアンカー4×50



ハンドル レバーまたは丸ノブ

 皿タッピング4×12(D=6)

 ライナー



ドアチェック
(オプション)



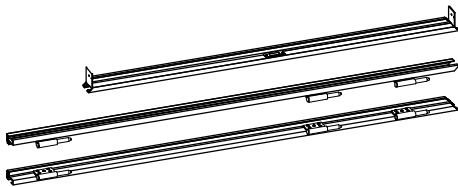
延長ケーブル
(10m)

共通

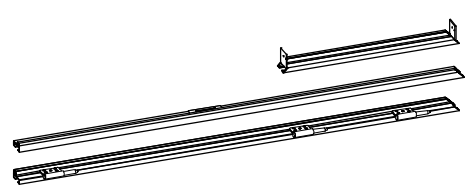
※ 取付けネジ・ライナーの数は、扉の大きさによって変わります。


3方枠


両開き・親子扉

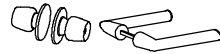


片開き扉





 皿タッピング4×50

 受け坪(両開き時)



ハンドル レバーまたは丸ノブ

 皿タッピング4×12(D=6)

 ライナー



ドアチェック
(オプション)



延長ケーブル
(10m)

共通

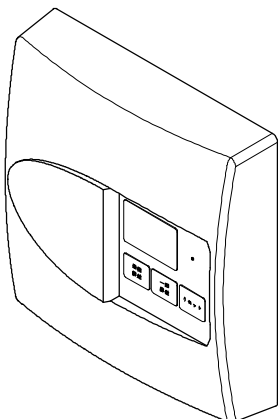
※ 取付けネジ・ライナーの数は、扉の大きさによって変わります。

オプション

電気錠制御盤 (美和ロック BAN-BS1)

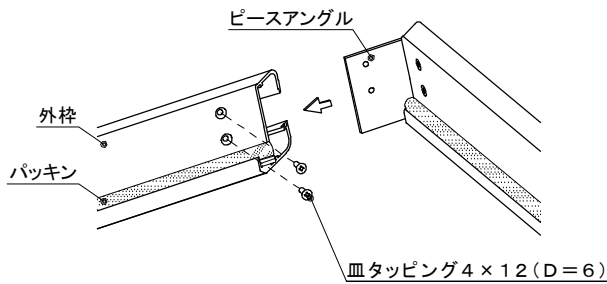
2芯変換アダプター

※ 制御盤の接続は制御盤に付属の取扱い説明書を参照下さい。

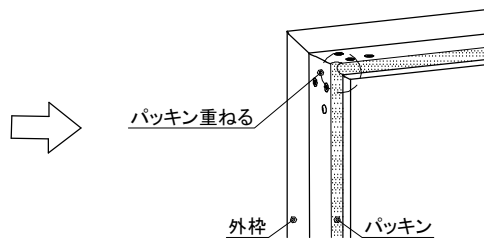


(3) 扉の取付け

外枠の組立て



上下枠に取り付けられているアングルピースを縦枠に差込み、皿タッピング4×12(D=6)で固定する。

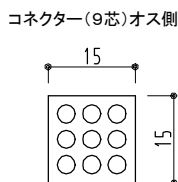
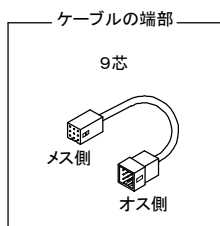


上下枠コーナー部のパッキンを縦枠パッキンに重ねる。

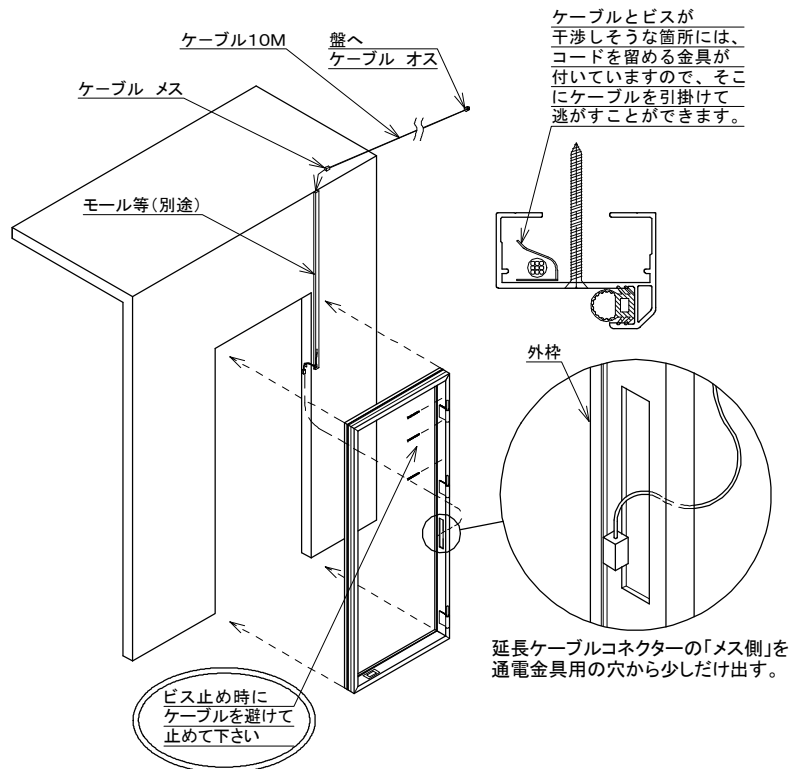
延長ケーブルの組み込み

組み立てた外枠の内側に延長ケーブルを収納し、上部までケーブルを立ち上げることができます。外枠をビス固定する際にケーブルを傷つけないよう、ケーブルは外枠裏側に貼ってある留め金具でしっかりと固定してください。延長ケーブルコネクターの「メス側」を、丁番側にある通電金具用の穴から少しだけ出るように調整してください(あまり出しすぎると、ジョイント後の収納に支障がでます)

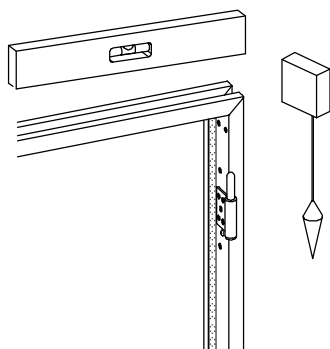
※丁番側に入る延長ケーブルは、くれぐれもネジで傷つけないようお願いいたします。ケーブルを傷つけると正常に作動しないおそれがあります。



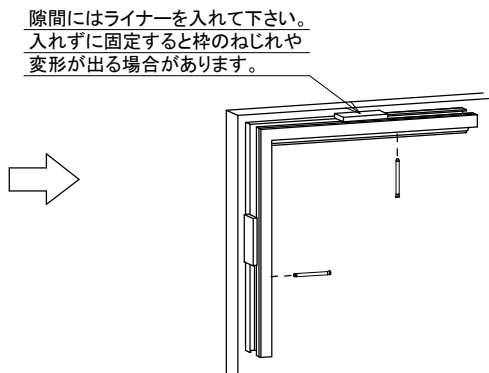
※ケーブルの直径はφ9です



外枠の取付け

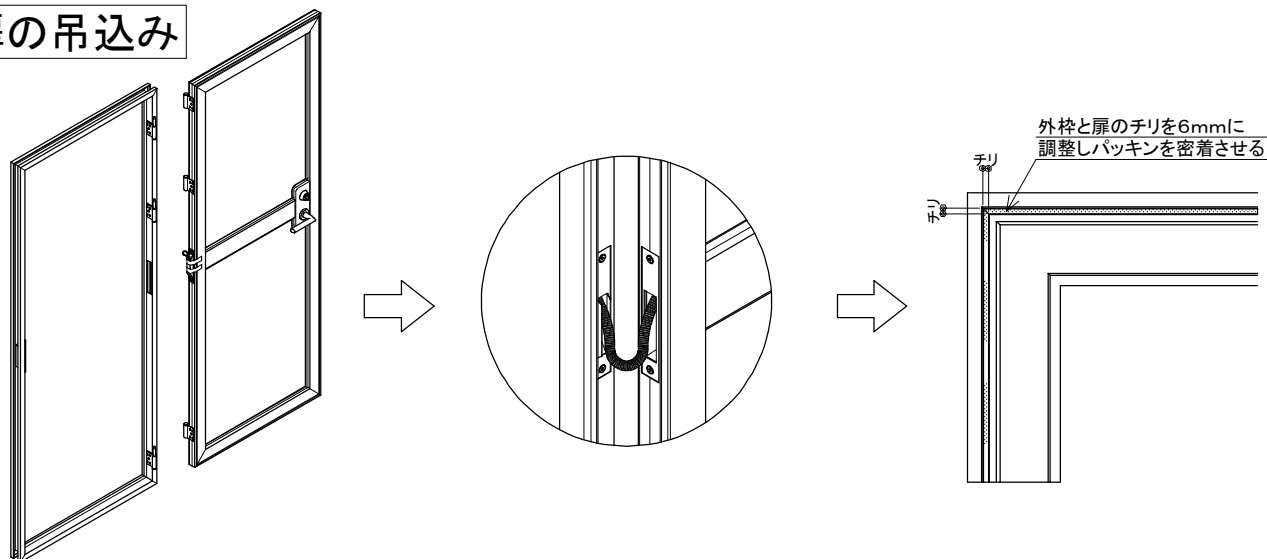


外枠を開口部に納め、下げ振りや前後・左右のこりび、水準器などで水平を調整する。



開口との隙間にライナーを入れて、皿タッピング4×50で固定する。(下穴3.5φ)

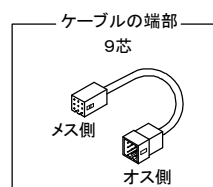
扉の吊込み



扉を90度以上開いて丁番をセットし、吊りこみます。

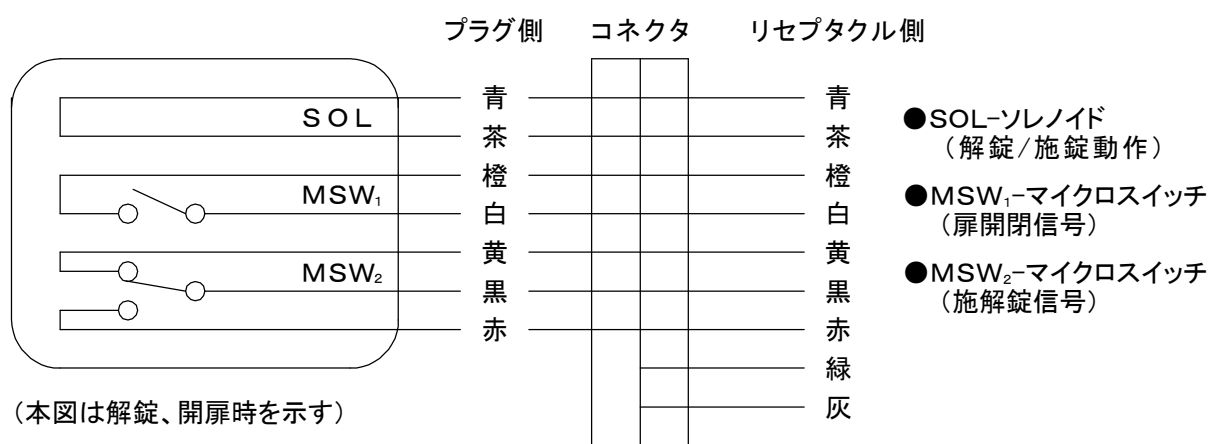
外側から少しだけ出した延長ケーブル「メス側」と、通電金具から出ている「オス側」をジョイントしてから、外枠に通電金具を取付けます。ジョイント部は絶縁テープを巻くなどして、外れないように接続してください。

次に、扉を閉めてチリ・パッキンの密着を確認してください。チリ・パッキンの密着がおかしい場合には9ページの「丁番調整」を参考に調整して下さい。開口部の隙間はコーキングでシール処理してください。



- 注意1！** 通電金具の蛇腹部は無理に引っ張らないでください。破損の恐れがあります。
注意2！ 通電金具を外枠に取付ける前に扉を閉めないで下さい。通電金具が破損する恐れがあります。
注意3！ 途中でドアを枠から外す場合は、必ず通電金具を外してからドア本体を外して下さい。

ケーブルの接続 ケーブルの種類と色



コネクタ内の色の配置



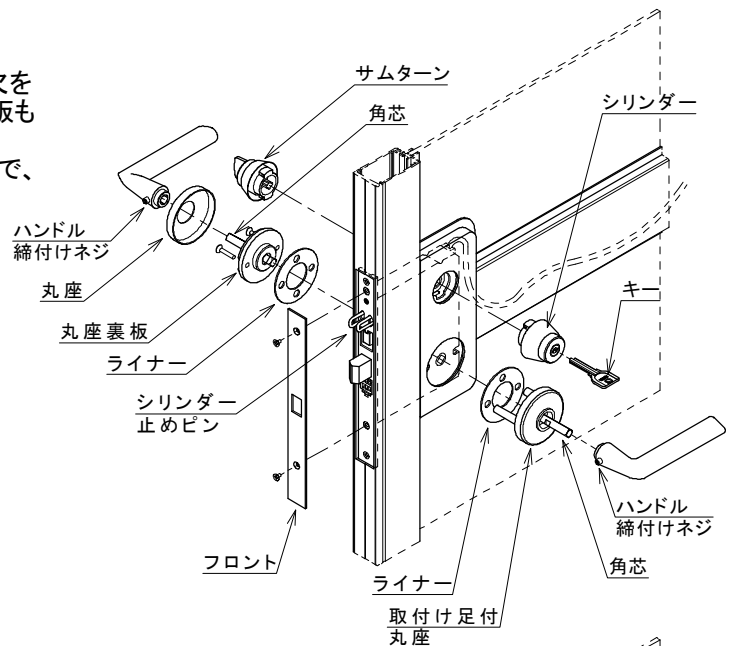
※ コネクタが不要の場合はコネクタ一部を切断してご使用下さい。その場合ケーブルの色をよくご確認ください。

レバーハンドルの取付け(交換)

- 1, 室外側に取付け足付の丸座とライナーを、角芯の切欠を戸先に向けた状態で取り付けます。室内側の丸座裏板も切欠を戸先に向け、取付けネジで固定して下さい。丸座裏板は丸座に組み込まれた状態で出荷されるので、外してから取付けて下さい。
- 2, 室内側の丸座裏板に丸座をねじ込んで下さい。
- 3, 室外側、室内側それぞれのハンドルを差し込み、締付けネジを使って固定します。

※混載便にて出荷のドアはハンドルを外してあります。現地にてセッティングして下さい。

※中残のない場合、ケーブルは框枠の中を通して丁番側の通電金具に繋がっています。

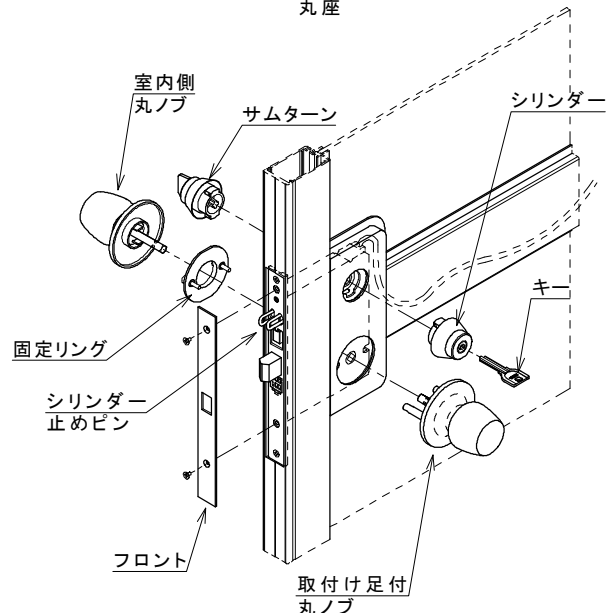


丸ノブの取付け(交換)

- 1, 室外側に取付け足付の丸ノブを取り付けます。室内側の固定リングを取付けネジで固定して下さい。丸座裏板は丸座に組み込まれた状態で出荷されるので、外してから取付けて下さい。
- 2, 室内側の丸ノブを固定リングにねじ込んで下さい。

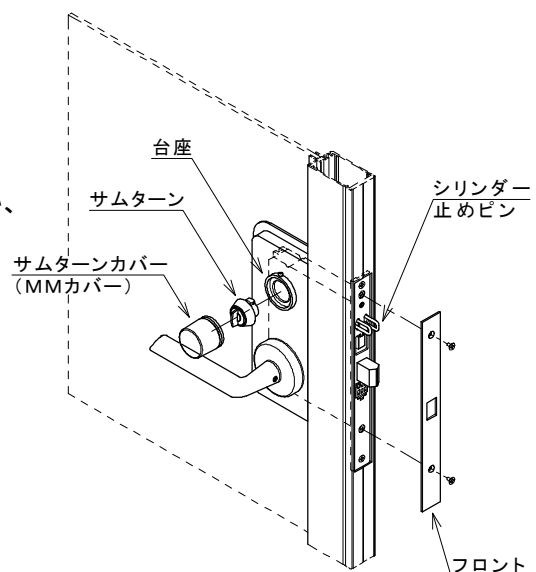
※混載便にて出荷のドアはノブを外してあります。現地にてセッティングして下さい。

※中残のない場合、ケーブルは框枠の中を通して丁番側の通電金具に繋がっています。

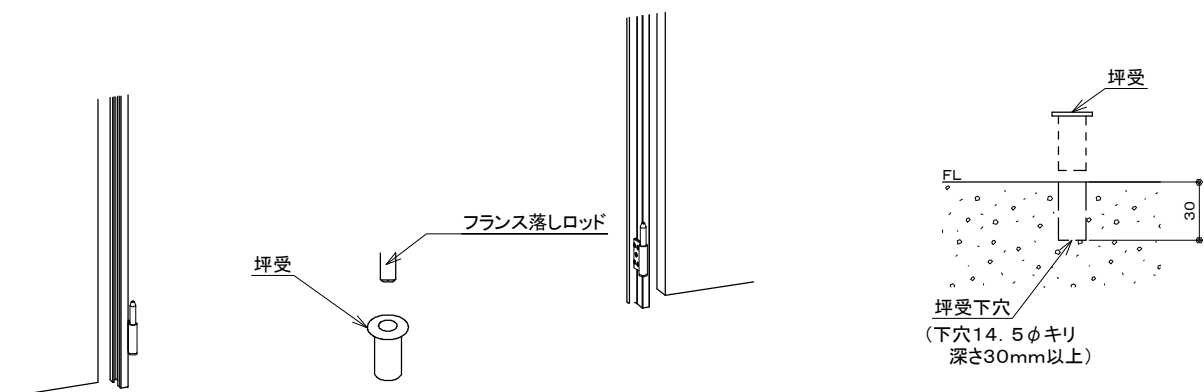


サムターンカバー(MMカバー)の取付け

- 1, フロントを外し、サムターン側のシリンダー止めピンを引き出し、サムターンを外します。
※この時サムターンが飛び出すことがありますのでご注意下さい。
- 2, サムターンカバーの台座をサムターンが付いていた穴にあてがい、1, の要領の逆の手順でサムターンを取付けます。
※サムターンはつまみが垂直になるように取付けます。
- 3, 透明カバーをサムターンカバーの台座にねじ込み、最後にサムターンカバー台座側面にプラスチックネジを取付けます。
※透明カバーは構造上非常に壊れやすくなっています。取扱いには充分注意して下さい。

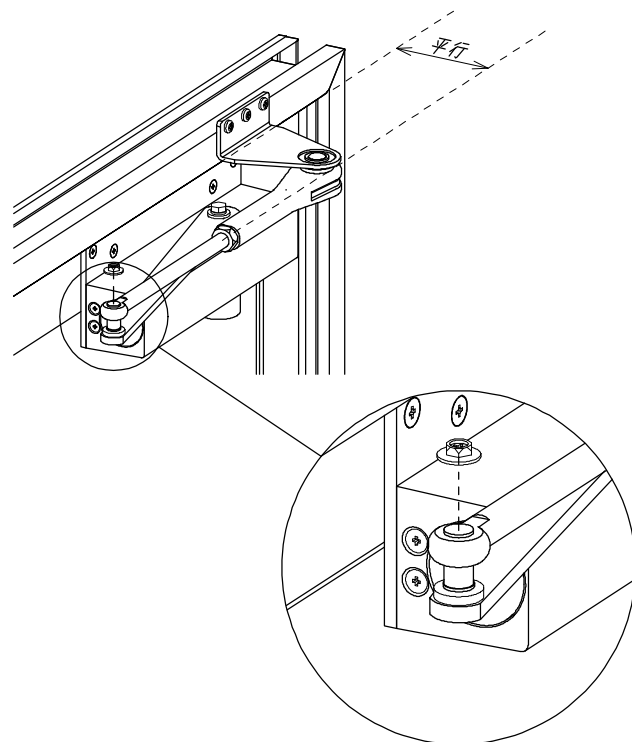
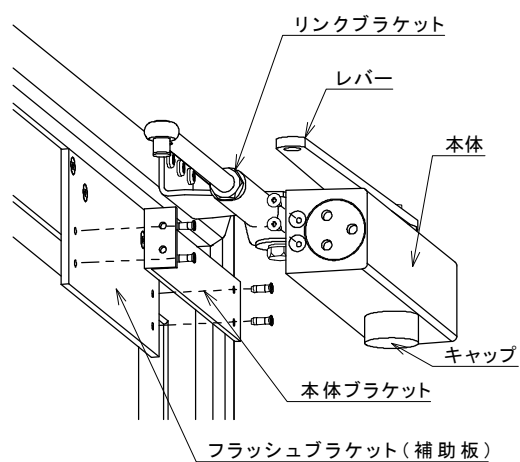


3方両開きのフランス落とし受け坪の取付け



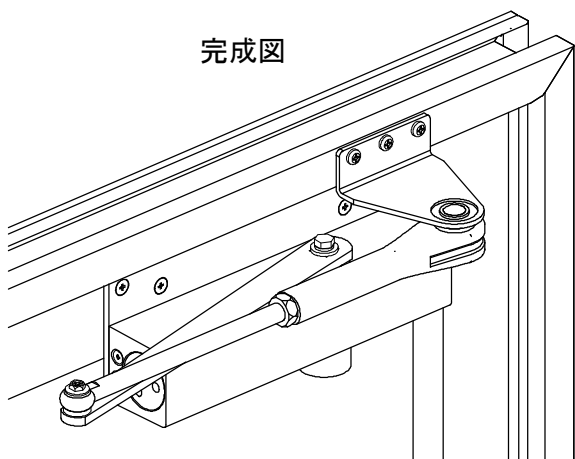
フランス落としロッドの納まる位置に下穴(14.5φ)を深さ30mm以上あけて、受け坪を取り付けてください。

ドアチェックの取付け(オプション)



フラッシュブラケット(取付済)に本体ブラケットを取付けます。
外枠にリンクブラケットを取付けます。
レバーを本体に取付け後、本体を本体ブラケットに取付けます。

完成図



閉まった時リンクがドア枠と平行になるように、
リンクの長さを調整します。
リンクをレバーピンに挿入し取付けします。

※速度調整については、9ページを参照してください。

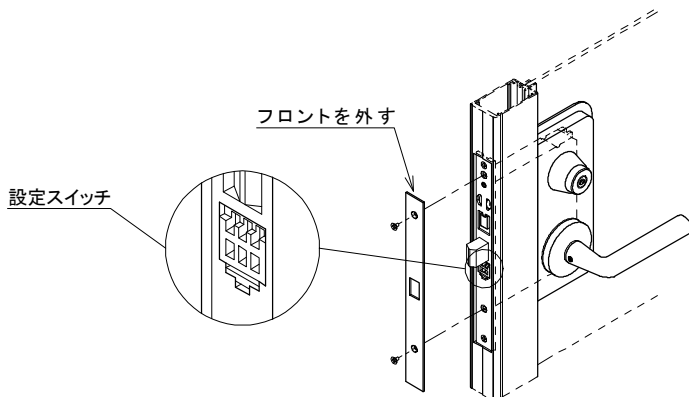
(4) 電気錠種(機能)の設定

注意！この作業は電気工事終了後または実際に使用される際に行ってください。

この扉の電気錠は、出荷時には通電時施錠型で設定されています。通電時解錠型に設定してしまうと、通電していなくても閉じ込められてしまう恐れがあるためです。電気工事が終了し、通電していることが確認できましたら、下図を参照のうえ、目的とする設定に変更して下さい。

手順

フロントを外し、軽くスイッチ押えの下部をこじ開け、スイッチを上下させて印のある錠種の設定をして下さい。
(強くやりすぎると故障の恐れがあります。)



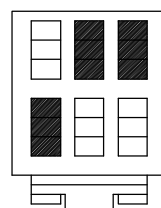
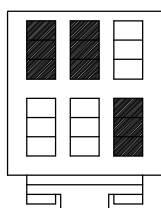
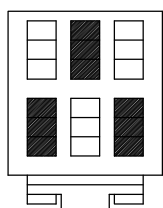
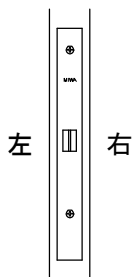
通電時施錠型

通電している間、施錠されているタイプ。停電時には解錠されます。断線してしまった時や火災・停電時に非常口や避難路とする場所には、このタイプを使います。

AUR (初期設定)

AURA (右側シリンダー)
(左側アンチパニック)

AURA (左側シリンダー)
(右側アンチパニック)



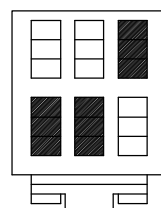
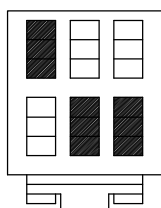
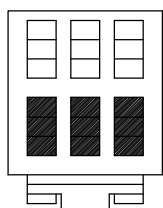
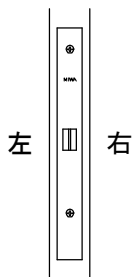
通電時解錠型

通電している間、解錠されているタイプ。停電時には施錠されます。断線・停電しても中に人を入れたくないような部屋の出入り口や通用口には、このタイプを使います。
(通電時解錠型に設定する時は、必ず電気工事終了後、通電していることを確認してから行って下さい)

AUT

AUTA (右側シリンダー)
(左側アンチパニック)

AUTA (左側シリンダー)
(右側アンチパニック)



アンチパニックとは、ドアが施錠されていてもレバーハンドルやノブを動かすだけで解錠されて扉を開けることができる機能のことです。

(5) ケーブルの接続(2芯への変換またはコネクタ不要時)

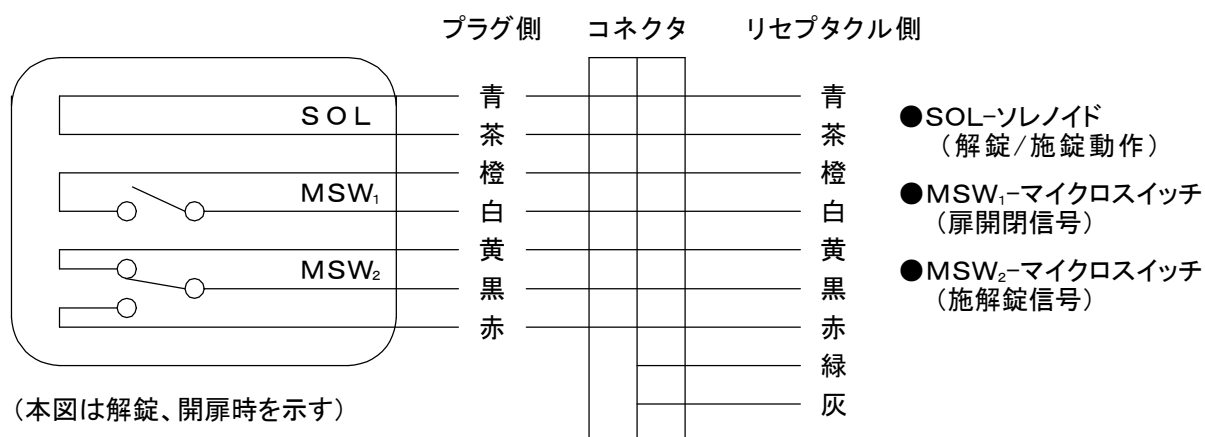
通電金具、延長ケーブル共、9芯ケーブル(コネクタ付)を用意しています。オプションの制御盤 BAN-BS1 をはじめ、美和ロック製の制御盤で2芯に変換する必要がある場合は、美和ロック製制御盤に付属の2芯変換アダプターを使って2芯に変換して下さい。



2芯変換アダプター

ケーブルの接続 ケーブルの種類と色

通電金具、延長ケーブルのコネクタが不要な場合は、コネクタを切断してお使い下さい。ケーブルの色は、それぞれ下図のようになっています。



コネクタ内の色の配置



※ コネクタが不要の場合はコネクタ部を切断してご使用下さい。その場合ケーブルの色をよくご確認下さい。

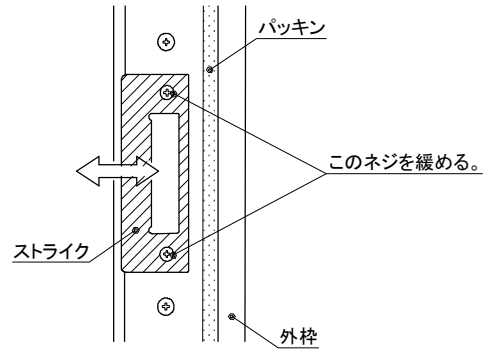
制御盤への結線と制御盤の設定につきましては、それぞれの制御盤に付属の説明書、要領書に従って設定して下さい。

(6) 扉の調整方法

ストライクの調整

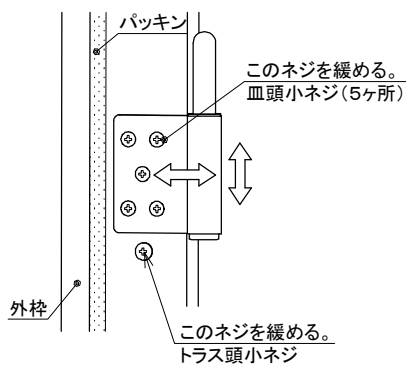
扉が閉まりきらない(ラッチがかからない)ときなどは、ストライクを調整してください。

図のように、取付けネジを緩めストライクの位置を調整し、ネジを締めて固定する。



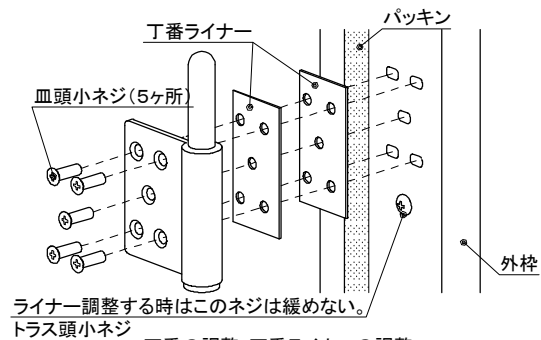
丁番の調整

扉と外枠の隙間が均等(6mm)にならないときは、下図の方法で吊位置を調整してください。



このネジを緩める際は、完全に取外さないよう注意してください。取外すと丁番が落下します。

図の様に丁番を外して丁番ライナーの枚数を減らす、または枚数を増やして丁番ライナーの枚数を調整することでドアの垂れの調整が出来ます。



ライナー調整する時はこのネジは緩めない。

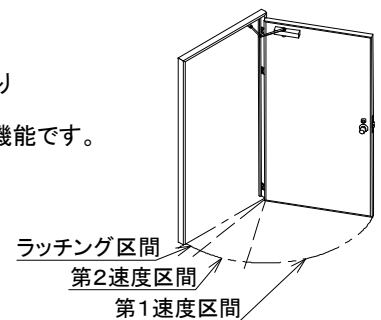
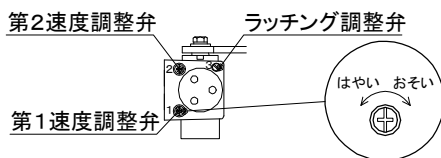
丁番の調整・丁番ライナーの調整

図の箇所を緩めて丁番の位置を調整する。

ドアチェックの調整

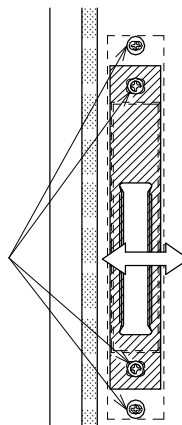
○ドア閉じ速度の調整

閉じ速度は、第1速度区間及び第2速度区間それぞれ個別の調整ネジで行います。速度調整ネジを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで4~6秒位です。(※第1・2速度調整ネジは左へ1回転以上回転させないでください。) ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置手前(約3°)まで来た時点で、ドアを素早く閉める機能です。風が強くとドアが閉まりきらない場合等に使用します。調整ネジを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。(※ラッチング調整ネジは左へ1回転以上回転させないでください。)



通電金具の調整

開閉時に音をするような場合は、このビスを緩めて通電金具の位置を調節して下さい。



(7) 故障かな?と思ったら

- ・錠の動作や操作が取扱い説明書のとおりに行われない場合は以下の確認を行って下さい。
- ・以下の確認修正を頂いても正常な動作にならない場合は、当社にご連絡下さい。

チェック項目

1. 電気錠取付け時(電源OFF時)のチェック【建具工事】	結果	備考
1-1 設計仕様は錠種と合致しているか。 (a)錠種、品番は設計のとおりか。		
1-2 錠種の設定および勝手が設定スイッチのとおりになっているか。 (a)設定スイッチを変更した際、制御盤の電源を落としてから行ったか。(電源を落とさずに行った場合は一度制御盤の電源を落としてから、再び電源を入れた後正常に動作するか確認。)		
1-3 扉の状態は正常か。デッドボルトが正しく突出しているか。 (a)扉のねじれ・ゆがみ等で、デッドボルトがストライクの穴にあっていないのではないか。 (b)扉の反発により、デッドボルトがストライクの穴にあっていないのではないか。 (c)錠前側の縦チリは6mm以下か。		
1-4 ケースの取り付け状態は良好か。デッドボルトがスムーズに出入りするか。 (a)フロントが扉面に正しく納まっているか。		
1-5 シリンダーの取付け状態は良好か。 (a)MIWAマークが上になっているか。 (b)ガタツキがないか。		
1-6 ハンドル(握り玉)の取付け状態は良好か。 (a)ガタツキ・ゆがみはないか。 (b)動きはスムーズか。		
1-7 ストライクの取付け状態は良好か。 (a)取付け方向は正しいか。 (b)マグネットの位置は正しいか。 (c)デッドボルトとストライクの穴との位置は正しいか。(上下、前後)		
1-8 通電金具の取付け状態は良好か。 (a)通電金具と丁番の軸芯があっているか。 (b)通電金具が扉反発の原因となっていないか。		
1-9 扉の結線は正しくされているか。 (a)電気錠と通電金具の間の結線は結線図のとおりなされているか。 (b)コネクター付通電金具を使用している場合は、コネクターがしっかりとハマっているか。 (c)断線はないか。		
1-10 扉を閉じた状態での電気錠の動作チェック。 (a)錠種の動作確認表のとおり状態(取付け時の状態)になっているか。 (b)シリンダー、サムターン、ハンドル(握り玉)、デッドボルトの動きがスムーズか。		

2. 操作盤の取付け、配線、電源をONにした時のチェック【電気工事】	結果	備考
2-1 操作盤の仕様は錠種と合致しているか。 (a)錠が操作盤の適用錠に含まれているか。 (b)錠種に操作盤の錠種設定を合わせてあるか。		
2-2 結線は正しくされているか。 (a)通電金具と操作盤の間の結線は、結線図のとおりなされているか。 (b)コネクターを使用している場合は、コネクターがしっかりとハマっているか。 (c)断線はないか。ネジでケーブルを傷つけていないか。 (d)配線長さに見合う太さの線を使用しているか。(0.3mm ² で90mまで)		
2-3 結線は正しくされているか。		
2-4 扉を閉じると (a)錠種にあった動作が確実に行われているか。 (b)閉扉ランプが点灯するか。または、開扉ランプが消灯するか。		
2-5 解錠ボタンを押すと (a)解錠ランプが点灯するか。または、施錠ランプが消灯するか。 (b)錠種の確認表の動作が確実に行われているか。 (c)扉を開けると閉扉ランプが消灯するか。または、開扉ランプが点灯するか。		

(8) 電気錠の仕様

名 称	定 格			
ソレノイド (解錠動作)	電 圧 DC24V (±20%)	電 流 0.3A (±20%)	通電時間 連続	通電率 1
マイクロスイッチ (扉開閉信号)	電 圧 DC24V	電 流 2mA~100mA	有効チリ寸法 6mm以内	
マイクロスイッチ (施解錠信号)	電 圧 DC24V	電 流 2mA~100mA		
リード線	長さ400mm(9Pコネクタ付) AWG-26UL1007耐熱ビニール電線			
使用温度範囲	-10°C~+50°C(結露、氷結しないこと)			

サンワイズ 株式会社

静岡県静岡市清水区興津中町848

TEL 054-360-0803

FAX 054-360-3227

URL <http://www.sunwizz.co.jp/>

 SUNWIZZ